



緑の屋根



伊勢崎市立宮郷第二小学校 学校通信

令和6年4月9日

◇ 始業式 式辞より

体育館前や校庭を見守る桜は、見事に咲き、入学式をたたえ満開の花が咲き誇っています。皆さんは、昨年度から一学年進級しました。また、新しい1年間が始まります。私は、新しいこの宮郷第二小学校で、皆さんと一緒に、勉強や運動ができることを、とても楽しみにしています。昨年度よりもさらにすばらしい一年にするために、2つ大切にしてほしいことがあります。



一つ目は、国語や算数、体育や音楽などの授業にしっかり取り組む中で、言葉を、日本語をしっかりと学び、使えるようにして行ってほしいということです。自分の思いや気持ちが、正しく友達や他の人に伝えられるように、また友達や先生の思いや気持ちが言葉で正しく読み取れるようになって欲しいからです。綺麗な美しい言葉を、日本語を身に付けて、使える人を目指してください。

もう一つは、大きな声で「あいさつ」「返事」ができるようにすることです。あいさつや返事は、人間関係をつくる最も基礎となるコミュニケーションです。誰に会っても、学校外でも大きな声であいさつや返事ができることを願います。

最後に、この宮郷第二小学校の全ての先生方は、皆さんの味方です。皆さんに時に厳しく、時にやさしく全力で関わります。皆さんが心も体も成長してくれることを何よりの喜びに感じる先生方です。いつでもどんな時でも、たよりにしてください。

本日、これから新しい一年生を迎える入学式があります。明日から、優しく面倒をみてあげてください。よろしく願います。

◇ 入学式 式辞より抜粋

宮郷第二小学校一年生として、がんばってほしいことを二つお話しします。

一つ目は、勉強や運動に一生懸命、取り組むということです。そのために、お話しをしっかりと聞き取ることがとても大切です。

二つ目は、元気よく、あいさつや返事をするということです。「おはようございます」「さよ

うなら」「ありがとうございます」、そして名前を呼ばれたときに「はい」と応えられるようになりましょう。教室や校庭で、皆さんの元気でしっかりとしたあいさつや返事が聞こえることを楽しみにしています。

◇ 年度末 卒業式の服装についてのお願い

年度が始まったばかりの時期に恐縮ですが、年度末の卒業式に関するお願いです。本校では、卒業式における6年生の服装等について、例年、「小学校の学校行事にふさわしい、華美になりすぎないもの」とお願いしてきています。数年前、和装(羽織や袴等)で参加する児童が着慣れていないため、式中に体調不良をおこして介助を受けたり、式中に着崩れたため、直さなければならなくなったりしたことがありました。また、大きな髪飾りを装着していたところ、立礼の際や証書授与への移動中に落下して他の児童の動きを妨げることもありました。児童が辛い思いをするだけでなく厳粛な式の進行に支障が生じる事態になってしまいました。そこで、令和5年度にもあらためて、卒業式の児童の服装等について、和服の着用や大きな髪飾りの装着を控えていただきたくお願いしたところ、全てのご家庭のご理解とご協力をいただき、卒業式を厳粛に滞りなく挙行できました。卒業式の服装等については、早い時期から準備される場合もあるとお聞きしましたので、**令和6年度以降も、和服の着用や大きな髪飾りの装着は控えていただきます**よう、年度当初の今の時期にお願いすることとしました。ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

◇ 学校近隣の商業施設の駐車場を利用しての送迎は、

お控えください。

先日の入学式の前に、学校近隣の商業施設に挨拶に伺ったところ、昨年度も子供たちの送迎のために商業施設の駐車場を利用する方が若干名いることには、たいへん困っているとお話がありました。自家用車で送迎しなければならない時にも、商業施設の駐車場を安易に利用しないよう、今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。